

神戸っ子のびのびひろばの実施状況（学童保育との連携等）

（１）現状

・地域ボランティアの協力を得て、放課後等の図書室や運動場などを利用し、すべての児童を対象に行う神戸っ子のびのびひろばを 101 校（令和 6 年 4 月時点、市内小学校数 163 校）で実施している。神戸っ子のびのびひろばのプログラムに学童保育の児童が参加する形で交流に取り組んでいる。（交流事例 72 校（令和 5 年 6 月時点））

- ・実施校 101 校（令和 6 年 4 月現在）
- ・延べ参加児童数 167, 582 人（令和 5 年度実績）
- ・平均参加児童数 21.0 人／日（令和 5 年度実績）
- ・平均開催日数週 1～2 日（令和 5 年度実績）

年度	実施校数	対前年増減	小学校数	実施割合（％）
2	123	0	163	75.5
3	118	△ 5	163	72.4
4	111	△ 7	163	68.1
5	108	△ 3	163	66.3
6	101	△ 7	163	62

・低学年の児童の 6.2%が神戸っ子のびのびひろばを利用し、未就学児（来年入学する児童）保護者の 7.8%が低学年のうちには神戸っ子のびのびひろばを利用させたいと回答している。（令和 5 年度神戸市子ども・子育て支援事業に係る基礎調査より R5. 12-R6. 1）

（２）課題の整理について

- ①活動に関わる人材の確保が課題となり、地域ボランティアによる神戸っ子のびのびひろばの実施校は減少している。安全・安心な放課後の居場所の確保を図る観点から、教育委員会が実施している放課後運動遊び事業、図書室の開放、児童館との連携について整理する。
- ②学童保育を利用していない児童の、長期休業中の居場所を拡充するにはどのような方策が有効なのか、神戸っ子のびのびひろばの開設日について整理する。
- ③学童保育の児童が神戸っ子のびのびひろばのプログラムに参加できる取組みを進めてきたが、約 3 割の神戸っ子のびのびひろばで交流が行われていない。交流を推進す

るにあたり、学童保育の児童が神戸っ子のびのびひろばに参加した後に学童保育を利用する等の仕組みづくりを、両事業者と整理する。

④13校（／のびのび実施校数101校）で、同一の運営者が、同一の小中学校内の学童保育と神戸っ子のびのびひろばを一体的に運営している。両事業の児童の交流を進めるため、両事業の児童を区別なく保育するにあたっての課題を整理する。

○神戸っ子のびのびひろばの運営上の課題全般について、丁寧な実態把握をする（運営者へのアンケートや参加児童、保護者からの意見の聞き取り、小中学校への調査等）。